「巨大自然災害に備える!」

<u>~3.11 東日本大震災を忘れない~</u>

未曽有の被害をもたらした東日本大震災から3年

<mark>入場無料</mark> ご自由にご来場頂けます

近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の自然災害に備え、地震・津波の恐ろしさを 再確認し、今後に活かすため、東日本大震災で活躍した災害対策用機械の展示や防災に係る映 像放映、講演会などを行います。

また、名古屋大学と国土交通省が連携し、災害に備えるためTV会議システムを活用した「情報 共有デモンストレーション」を行います。さらにこのTV会議システムで、来場者のリクエストにお応 えし、中部地方各地の現地映像の提供を行います。この機会に是非ご参加ください。

日時: 平成26年3月27日 (木)13:30~17:00

場所:名古屋大学 減災館

災害対策車両の展示・紹介

東日本大震災で活躍した国土交通省の災害対策用機械







防災講演会

聴講自由

会場:減災ホール

名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授 福和伸夫 16:00~17:00

「総力を結集し南海トラフ巨大地震を凌ぐ」

(要旨) 東日本大震災を上回る被害が想定される南海トラフ巨大地震が切迫している。

現在の行政機関の災害対応力では、災害後の十分な 対応は困難と思われ、事前の防災対策による被害軽減 が不可欠である。

その基本は自助と共助にある。危機の回避、抵抗力の強化、回復力の増大である。

我が身で考えれば、安全な土地への居住、耐震化と 家具固定、災害後のための備蓄や準備である。

パネル・被災物展示

東日本大震災などの映像放映



TV会議システムを活用した情報共有デモンストレーション





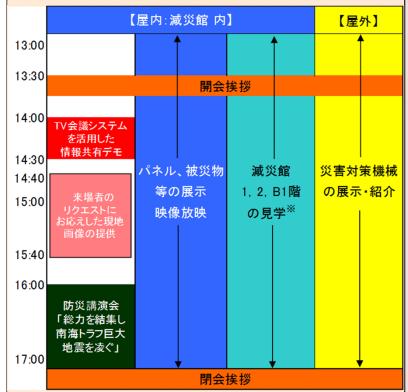
国立大学法人名古屋大学

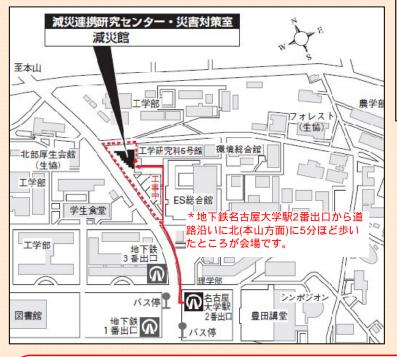
※ 来場者のリクエストにお応えし、中部地方各地から現地画像の提供を行います。

プログラム

※ 名古屋大学の協力による。

なお、雨天の場合は一部変更する場合がございます。





【屋内:減災館内】

- •TV会議システムを活用した情報共有デモ
- ■TV会議システム等を活用した名古屋大学との情報共有デモンストレーション
- ■来場者のリクエストにお応えし、中部地方各地から現地 画像の提供を行います。
- ·防災講演会
 - ■福和伸夫名古屋大学減災連携研究センター長による 防災講演会「総力を結集し南海トラフ巨大地震を凌ぐ」
- ・パネル、被災物等展示*
- ■東日本大震災の被害、復旧記録および南海トラフ巨大 地震に備えた取り組み等のパネル展示
- ■東日本大震災の被災物の展示
- •映像放映
- ■「東日本大震災時の様子」
- ■「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」*
- ·減災館1. 2. B1階の見学
- ■名古屋大学の協力によりオープンしたばかりの「減災 館」の見学

【屋 外】

・災害対策用機械の展示・紹介

東日本大震災で活動した災害対策用機械を展示・紹介

- ■排水ポンプ車、■照明車(操作体験可)
- ■対策本部車
- * パネル展示は、NPO等の参加団体の展示があります。
- *「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」は、(一社)中部地域 づくり協会提供

く会 場>

名古屋大学 減災館 名古屋市千種区不老町

- ·地下鉄名城線「市営地下鉄 名古屋大学」 下車 徒歩 5 分 (2番出口)
- ▲ 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 主 催: 国土交通省中部地方整備局、国立大学法人名古屋大学減災連携研究センター
- 共 催: 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議、(公社)土木学会中部支部、(公社)地盤工学会中部支部
- 協 カ: 特定非営利活動法人レスキューストックヤード、なごや防災ボラネット、特定非営利活動法人チームレスキュー 中部地方巨大災害タスクフォース、(一社)中部地域づくり協会

問合せ先:国土交通省 中部地方整備局 広報広聴官室 ホームヘーシ http://www.cbr.mlit.go.jp/ 名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 TEL:052-953-8110